

令和2年度第2回さいたま市文化芸術都市創造審議会 会議概要

- 1 日時 令和3年3月24日(水) 14時00分～15時10分
- 2 会場 リモート形式によるオンライン開催
(ときわ会館5階 中ホール)
- 3 出席者 (1) 委員
(敬称略、五十音順) 飯塚真澄、井口壽乃、池田妙子、加藤隆男
桐淵博、平匠子、鶴見清一、土井一朗
森隆一郎、柳沢幸一
(2) 事務局
スポーツ文化局 大西局長、野口部長
文化振興課 吉田課長、小野瀬課長補佐、
茂庭課長補佐、馬場主査、
田島主任、吉田主事、小坂主事
(3) 欠席者 なし
- 4 公開・非公開の別 公開
- 5 傍聴人の数 0人
- 6 内容 (1) 開会
(2) 挨拶
(3) 議題
①さいたま市文化芸術都市創造計画について(報告)
(4) その他
(5) 閉会

会 議 記 録

(1) 開会

(2) 挨拶

(3) 議題

<① さいたま市文化芸術都市創造計画について（報告）>

事務局 資料1「パブリック・コメントに対する意見募集結果」及び資料2「答申後に修正した主な項目一覧」に記載の意見等を反映して策定した資料3「さいたま市文化芸術都市創造計画 本編」について報告

会長 ありがとうございます。事務局から報告がありました事項について御意見、御質問等を伺います。

委員 本編56ページの本計画全体の成果指標について、それぞれの目標の10年後の目標値を設定した根拠を教えてください。

事務局 さいたま市総合振興計画と合わせた成果指標の目標となっておりますので、まず令和2年度の達成度を確認するためのアンケートを実施して、10年間でその結果をどれだけ伸ばしていけるかということを所管部署で検討した結果、それぞれの目標値を設定しております。

委員 目標値を設定した経緯というのは、理解出来ました。最終的な令和12年度に達成すべき目標値を算出するための計算式などはあるのでしょうか。

会長 もう少し詳細なバックデータなどはありますでしょうか。

事務局 客観的なエビデンス、計算式に基づいて算出しているわけではありませんが、それぞれの所管部署による施策推進において、目標に向けてどの程度の効果が得られるかとの考え方により、目標値を設定しております。

参考として、客観的な行動を数値化したものを指標としている場合には、アンケート結果に反映されやすいという視点から伸び率を高めに設定し、市民等の主観を問うような指標では伸び率を相対的に低めに設定しているといった経緯があります。

委員 44ページ右下の写真について、現在稼働中の「市民会館おおみや」と区別するために「新市民会館おおみや」との表現を使っているかと思われませんが、新しい建物が完成した後は、「市民会館おおみや」との名称で稼働すると伺っています。この冊子がこのままの状態だと、実際に新しい「市民会館おおみや」が開館した後も「新市民会館おおみや」の文言が残ってしまうこととなります。

事務局 冊子の目次の下に、「本計画は、令和3年3月1日時点の情報を基に作成しています。」との文言を記載しているため、現在稼働している「市民会館おおみや」と新しく建設中の「市民会館おおみや」を区別するために、別の表記にしております。

この他にも、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に係る記載など、流動的な要素が含まれている部分もございます。計画期間が10年間ですので、今後の社会情勢を鑑みながら、必要に応じて記載内容を、随時適切な表現に見直していければと考えております。

会長 委員委嘱後、初めての会議出席となります平委員から、御意見を伺えればと思います。

委員 パブリック・コメントに対する市の考え方について、既に文化芸術活動を行っている人のみならず、更に対象を広げて様々な支援を行っていくという視点に立っているように感じられました。文字が多い中で、写真も活用しているので、読みやすくなっていると感じます。

会長 審議会として、諮問を受けてから長い期間に亘って審議を行ってきた計画が完成したこともありますので、お一人ずつ順番に感想も含めて、御意見を伺えればと思います。

副会長 皆さんから様々な意見が出て、細かい文言修正も含めて内容を調整した結果、多くの人の考えがまとまった冊子として出来上がったというのが感想です。パブリック・コメントで御意見をいただいた中で、本計画に盛り込むことができなかった内容もありますが、実際に事業展開する段階では、提案された内容をできる限り実現してほしいと感じました。

このような計画を作った後が非常に大事になりますので、誰が何を担っていくのかということが明確になれば、更に一歩進むことができると思います。

委員 審議会に参加するのは初めてだったが、出席者全員の意見に耳を傾けてもらい、意見として取り入れてもらえたことで、非常に良い体験ができたと感じています。

これからは、一市民として文化芸術活動に参加する側となるので、様々なイベントに参加する際には、どの施策に基づいて実施されている事業なのかと考えながら楽しみたいです。

委員 文化・芸術というと、実際に文化芸術活動を実施している人しか関わりが無いものだと思っていましたが、審議会での様々な意見が取り入れられて完成した計画を読んでも、市民目線の視点になっていて、とても身近に感じられる内容になっていると思いました。誰が読んでも、自分も文化芸術に関わる事ができるのではないかと感じてもらえるような計画になったと感じています。

委員 概要版について、もう少し文字数を減らし、ビジュアル面を考慮した内容にできれば、より良かったと感じています。これから計画に基づく施策を実施していく段階の広報活動等において、見る人を引き込むことができるような工夫をしてもらえればと考えています。

また、成果指標として数値目標を掲げていますが、数値を達成すること自体が目標とならないように気を付けてほしいです。

委員 今までの計画の文言が、行政からの上から目線というか、市民主体という視点が抜けているような表現が多かったと感じていましたが、審議会の議論を経て、良い方向に改善されたと思います。

今後はまず、質の高い文化芸術に、市民の誰もが簡単に触れることができる環境を作りたいと考えています。また、合唱、絵画、短歌、俳句などの文化的な活動に参加している市民は多いので、自ら参加して表現できる場を充実させることが重要だと思います。そして、文化芸術活動を行っている人同士が、気軽に触れ合える環境を整えられるように努めてほしいと思います。

特に、子ども達が本物の文化芸術に触れられる機会を充実させ、その子ども達が行っている文化芸術活動をより多くの人に知ってもらえるような環境を整えてほしいと思います。

委員 39ページの右側の写真について、昔から由緒ある並びとして伝えられているお内裏様とお雛様の配置の写真を使っているので、日本古来のしきたりを守った内容に仕上がっていると感じられました。

委員 55ページに記載されているレガシー活用方針のポリシー①市民により受け継がれ発展を遂げた文化の革新について、最後の「革新」という文言には、「改める」という意味合いもあるので少し疑問に思っています。これまでの発展の経緯を踏まえた上で、市民へのリスペクトの視点から、より拡張・後押しをしていくという方向に進んでほしいと考えています。

委員 さいたま市文化振興事業団について、計画の主要な推進主体として位置付けられているので、責任を持って日々の業務に取り組み、期待されている役割に応えられる組織となるように努めていきたいと考えています。

委員 この計画をどのように市民へ浸透させていくのかを考えながら、市民一人ひとりの感性に響くような活動を進めてほしいと思っています。

会長 この計画の計画期間は10年間であるが、令和元年7月に市の諮問を受けてから、本日に至るまでの間だけでも、社会情勢は大きく変化しています。コロナ禍が収束した後においても、大きな災害等が発生する可能性もあるため、その都度軌道修正をして、柔軟な対応をする必要があると感じています。

また、推進体制の強化について、施策を実施するための組織作りを支援することを目的とした文化庁の助成金制度があることから、これらを活用することで、より実践的なステップに移行することが重要になると考えています。

さらに、市が保有している文化施設のみならず、埼玉県が保有している市内の文化施設等とも連携し、より魅力ある文化芸術活動ができるように、協力体制を築いていくことが求められています。

最後に、成果指標の目標だけでなく、そこまでの途中経過を評価しながら進めてほしいと考えています。随時、事業の評価をして、見直しをすることでより良い施策を展開する必要があると考えています。

会長 他に御意見等がありますでしょうか。無いようですので、議題については、以上となります。御協力ありがとうございました。

(4) その他

<事務連絡>

事務局 以下の2点について事務連絡

- ・報酬について
- ・会議概要について

<スポーツ文化局長から御礼の挨拶>

(5) 閉会

さいたま市スポーツ文化局文化部文化振興課
電 話：829-1226
FAX：829-1996